

2018.07.21



群馬見える化プロジェクト 2018

GUNMIE Project 2018

群馬大学大学院社会情報学研究科
平成30年度データ解析プロジェクト成果発表会

主催：内閣府地方創生推進室

地方創生★
政策アイデア
コンテスト

もっと
ジモトを
ハッピーに!

群馬県における、述べ訪問旅行者数増加の施策

～「アウトドアスポーツツーリズム」の可能性について～

群馬大学大学院社会情報学研究科

平成30年度データ解析プロジェクト成果発表会

リーダー：原田将信

メンバー：田村吉章、武井清、町田脩、佐藤大夢

所属グループ：群馬見える化プロジェクト2018 チームB

① 日本銀行 前橋支店の 報告書（2010）

「群馬県における観光産業の現状と課題～群馬県観光の更なる発展に向けて～」

② 観光庁 観光地域振興部 観光資源課 の 報告書（2015）

「インバウンドを見据えた着地型観光調査 先進地事例集」

③ 公益財団法人 日本交通公社 の 報告書（2015）

「観光産業の地域経済への波及効果分析手法の検討 及び

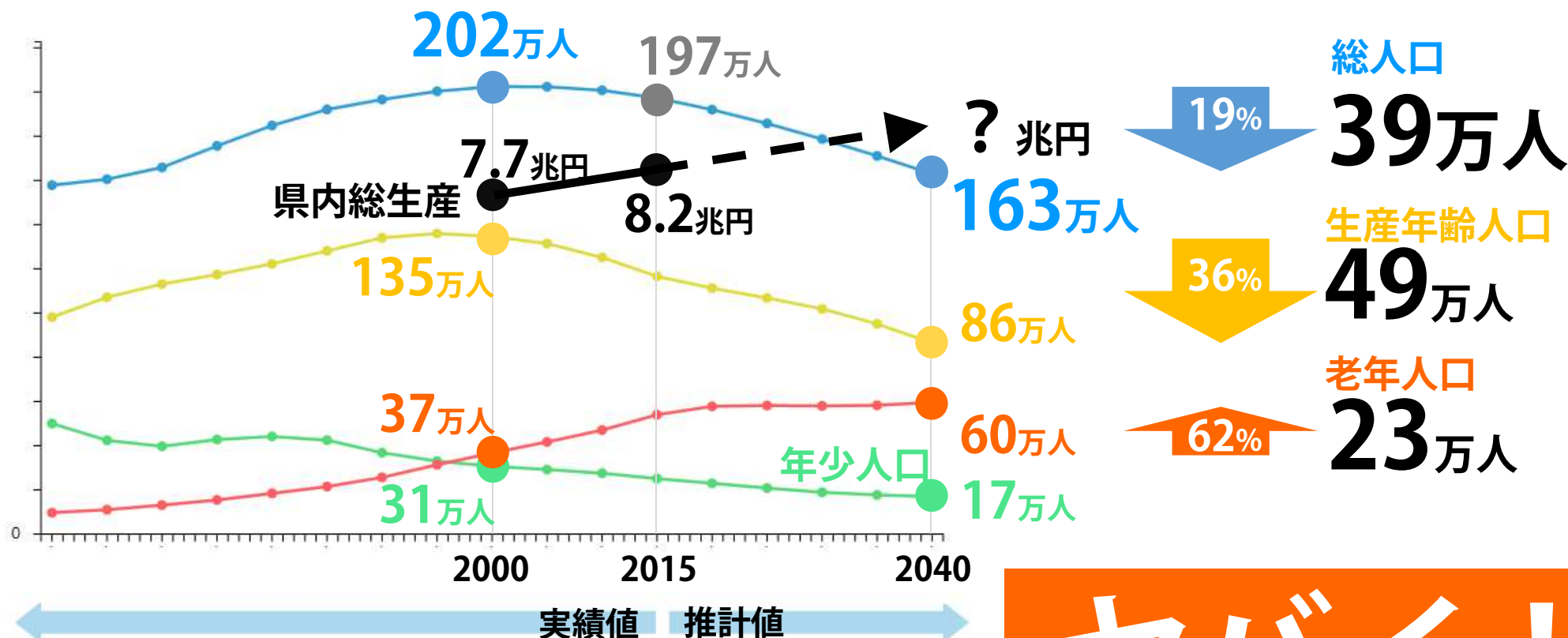
地域ストーリーづくりに関する調査」

【その他参考資料】

- ・ 群馬県 「群馬県の人口動態統計概況」 （2016）
- ・ 経済産業省 「群馬県の地域経済分析」 （2015）
- ・ 群馬県 「群馬県観光振興計画 2016～2019」 （2016）
- ・ 群馬県 「観光客数・消費額調査（推計）結果」 （2016）
- ・ みなかみ町 「みなかみ町観光振興計画」 （2013）
- ・ スポーツ庁 「スポーツツーリズムに関する国内マーケティング調査分析資料」 （2017）
- ・ スポーツ庁 「スポーツツーリズムに関する海外マーケティング調査分析資料」 （2017）
- ・ 国土交通省 「平成26年度 政策レビュー結果評価書 自転車交通」 （2015）
- ・ 観光庁 「観光の現状等について」 （2017）

- ・ リゾートじゃらんリサーチセンター 「じゃらん宿泊旅行調査」 （2017）
- ・ リゾートじゃらんリサーチセンター 「訪日外国人に人気の観光体験ランキング」 （2018）
- ・ リゾートじゃらんリサーチセンター 「インバウンド対応満足度調査」
- ・ リゾートじゃらんリサーチセンター 「ご当地調査「関東版」」 （2010）
- ・ ブランド総合研究所 「47都道府県 魅力度ランキング」
- ・ ジャパンエコトラック 「自然を満喫する新しい旅の形」 （2017）
- ・ ウィズスポ 「ツール・ド・ニッポン 全国横断型サイクルツーリズムによる地域活性化P J」 （2017）
- ・ JR東日本 「地域活性化施策とスポーツツーリズム」 （2017）

約40万人減少（2000年～40年間で）



【出典】 総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

【注記】 2015年までは「国勢調査」のデータに基づく実績値、

ヤバイ！

【対策】

- ①生産性向上？
- ②経済活性化？

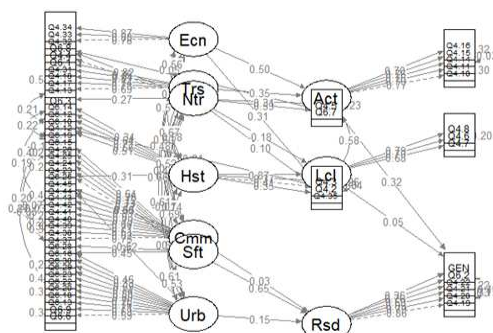
元気指数

お金だけじゃない！
格差を広げてはダメ！

活力ある群馬県！

【調査について】

調査名	地域元気指数調査, 2016
寄託者	アール・ピー・アイ
調査主体	マクロミル
サンプル数	100,000名



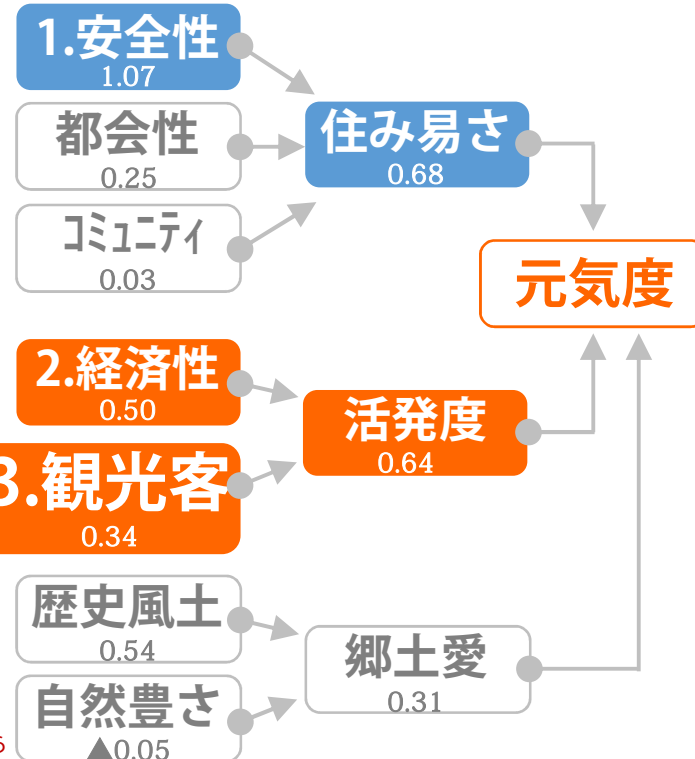
構造方程式モデリングを用いた分析

【調査内容について】

回答者の属性	性別/年齢/都道府県/地域/未婚/子供の有無/世帯年収/個人年収/職業		
目的変数候補	Q1S1 現在の幸福度		
	Q1S2 現在暮らしている地域の元気度(10点満点)		
説明変数候補	Q4地域に対する誇りや愛着	9設問	5段階評価
	Q4地域の賑わい	9設問	5段階評価
	Q4地域の住みやすさ	9設問	5段階評価
	Q4地域の経済的活発度・安定度	9設問	5段階評価
	Q4地域のコミュニティの充実度	9設問	5段階評価
	Q6居住市区町村に関する評価	30設問	5段階評価

着目 ➡

「地域の元気度」に影響を与える要素



〔二次分析〕に当たり、東京大学社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センターSSJデータアーカイブから

〔「地域元気指数調査, 2016」(アール・ピー・アイ)〕の個票データの提供を受けました。

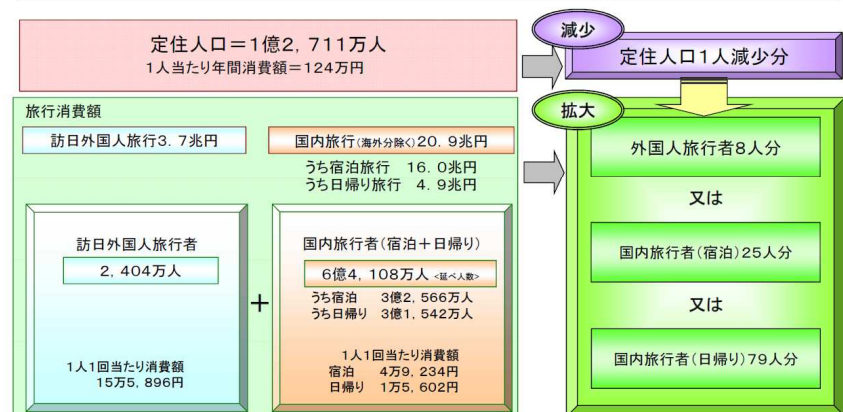
n=100,000 / RMSEA =0.047 / CFI =0.904

観光交流人口増大の経済効果

観光交流人口増大の経済効果(2016年)



○ 定住人口1人当たりの年間消費額(124万円)は、旅行者の消費に換算すると外国人旅行者8人分、国内旅行者(宿泊)25人分、国内旅行者(日帰り)79人分にあたる。



定住人口は2015年国勢調査(人口推計集計結果(総務省))。定住人口1人当たり年間消費額は2016年家計調査(総務省)による。旅行消費額の訪日外国人旅行は訪日外国人消費動向調査(2016年)より算出。国内旅行は旅行・観光消費動向調査(2016年)より算出。訪日外国人旅行者1人1回当たり消費額はJNTO(2016年)発表数値。国内旅行者は旅行・観光消費動向調査(2016年)より算出。訪日外国人旅行者1人1回当たり消費額は訪日外国人消費動向調査(2016年)、国内旅行者(宿泊+日帰り)1人1回当たり消費額は旅行・観光消費動向調査(2016年)より算出。定住人口1人減少分に相当する旅行者人数は、定住人口1人当たり年間消費額を訪日外国人旅行者又は国内旅行者1人1回当たり消費額で除したものである。(※観光庁資料)

出典：観光庁「観光の現状等について」(平成29年9月、p.16より抜粋)

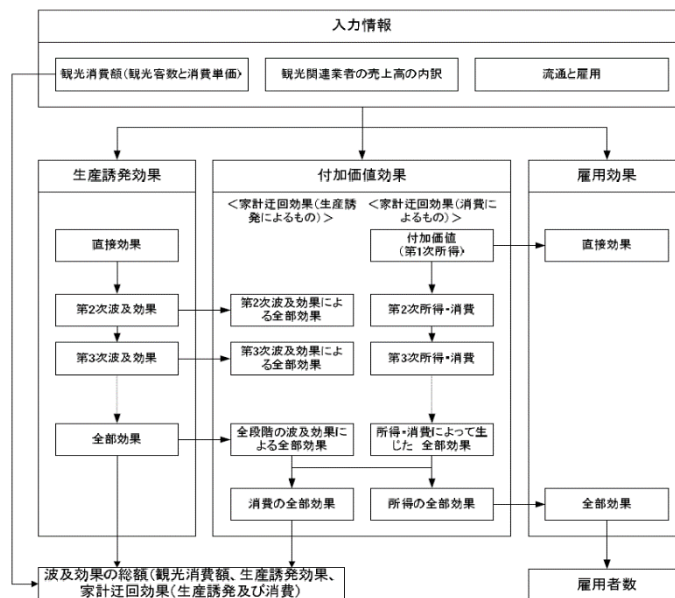
定住1人の年間消費額 (124万円)

＝

8人分

外国人旅行者
国内宿泊旅行者
国内日帰旅行者

25人分
79人分



出典：「観光消費が地域経済に及ぼす影響の推計手法に関する検討調査報告書」(平成16年3月、国土交通省総合政策局観光部)に一部加筆

引用：「観光産業の地域経済への波及効果分析手法の検討及び地域ストーリーづくりに関する調査報告書」(平成27年3月、公益財団法人 日本交通公社 p.5を一部改変)

あらゆる産業に波及

- ・所得→消費 up
- ・雇用者数 up
- ・税収 up

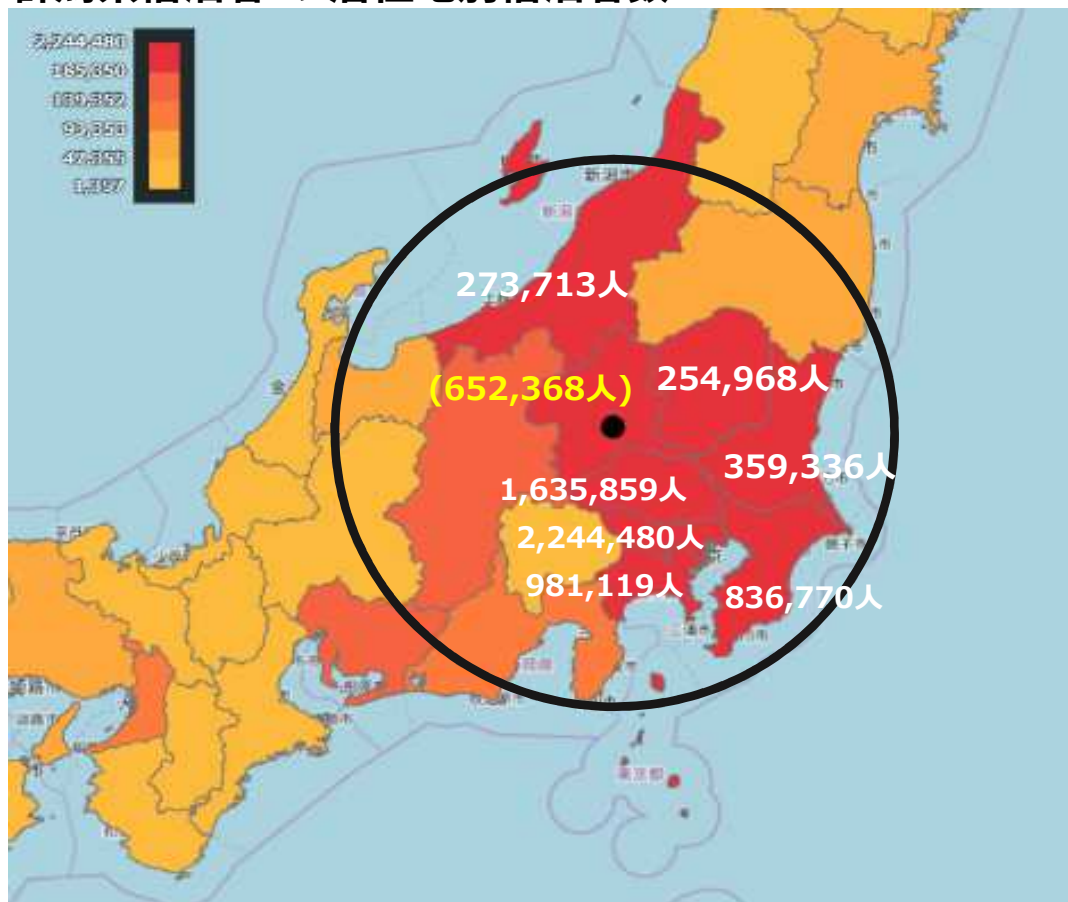
※富岡市での試算

1.62倍

引用：「観光産業の地域経済への波及効果分析手法の検討及び地域ストーリーづくりに関する調査報告書」(平成27年3月、公益財団法人日本交通公社 p.64より抜粋)

1都7県で9割弱

群馬県宿泊者の居住地別宿泊者数



地域経済分析システムRESASにより作成

2016年 総宿泊者数
約**850**万人

【内訳】

2,244,480
1,635,859
981,119
836,770
652,368
888,017
1,051,074
197,070

東京

7割

埼玉

神奈川

千葉

群馬

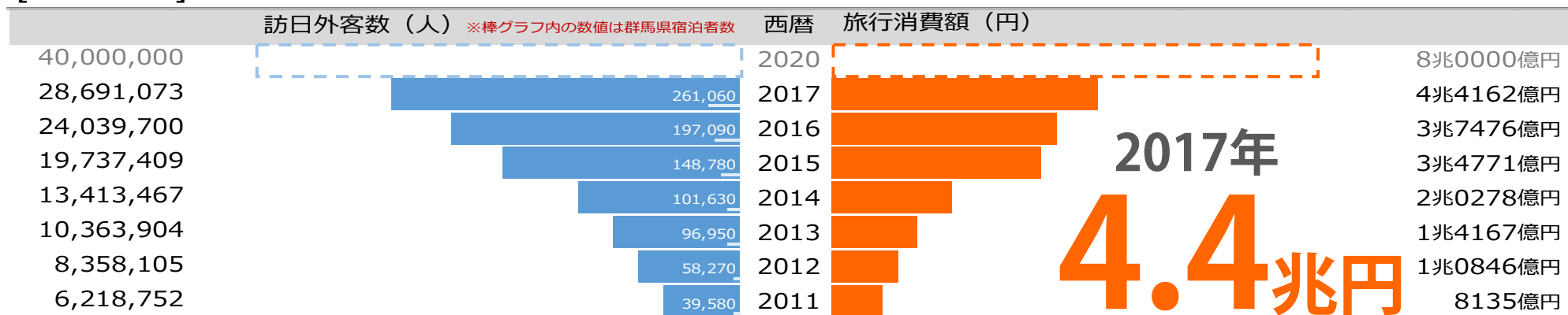
茨城・新潟・栃木

その他
訪日外国人

9割弱

訪日外客数と旅行消費額の推移

[図表2.2.2-1] 訪日外客数（総数）推移 と 2020年政府目標



出典①：日本政府観光局（JNTO）「国籍/月別 訪日外客数」

出典②：観光庁「訪日外国人の消費動向」平成23～29 年

出典③：観光庁「宿泊旅行統計調査」平成23～29 年

出典：観光庁「訪日外国人の消費動向」平成29年 および 25 年

2016年 群馬県 訪日外国人訪問者数
訪問目的：観光・レジャー

インバウンド市場では

出遅れ感

観光目的：86,843人

観光以外：110,227人

中国・韓国・台湾の3カ国で**7割弱**

2016年 訪日外国人 男女比（全国）

[図表2.2.2-4] 2016年 訪日外国人 男女比（全国）

性別	訪日外客数（人）
男性	10,603,590
女性	12,413,563
総数	23,017,153

出典：法務省「国籍・地域別 出国外国人の年齢及び男女別」2016

性別に有意差なし

2016年 地域別・訪日外客数（全国）

[図表2.2.2-3] 2016年 地域別 訪日外客数（全国）※主要国のみを抜粋

国および地域	訪日外客数（人）
中国	6,373,564
韓国	5,090,302
台湾	4,167,512
その他アジア計	2,056,770
香港	1,839,193
米国	1,570,420
欧州計	1,421,934
タイ	901,525
オセアニア計	505,638
カナダ	273,213

出典：日本政府観光局（JNTO）「国籍/月別 訪日外客数」

タイも存在感

2016年 年代別・訪日外客数（全国）

[図表2.2.2-5] 2016年 年代別 訪日外客数（全国）

男性：訪日外客数（千人）	年代	女性：訪日外客数（千人）
277	0～4歳	274
335	5～9歳	331
319	10～14歳	335
448	15～19歳	498
774	20～24歳	1,154
1,253	25～29歳	1,714
1,411	30～34歳	1,616
1,224	35～39歳	1,301
1,056	40～44歳	1,118
944	45～49歳	1,033
825	50～54歳	970
652	55～59歳	811
498	60～64歳	600
312	65～69歳	356
275	70歳以上	303
10,603,590人	総数	12,413,563人

出典：法務省「国籍・地域別 出国外国人の年齢及び男女別」2016

若い世代が多い

何故だー



群馬はパッシング

群馬に来るのは、
台湾人が5割弱

国および地域	訪群馬県外客数（人）
中国	1,000
韓国	1,000
台湾	1,000
タイ	1,000
インドネシア	1,000
フィリピン	1,000
アメリカ	1,000
ヨーロッパ	1,000
その他	1,000

台湾	40,478
香港	12,455
タイ	10,193
中国	8,914
米国	3,149
韓国	2,496
カナダ	2,430

出典：RESAS（地域経済分析システム）

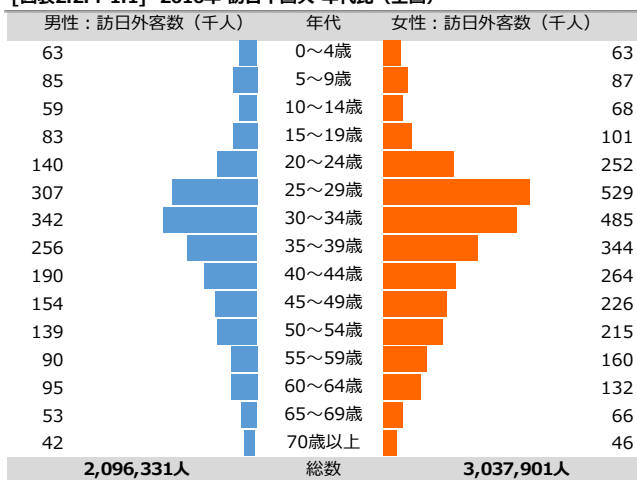
【特徴】

- ① 「買い物支出」が無茶苦茶多い。
 - ② ほぼ初訪日でリピート率が低い。
- ・ 訪日回数が少ないので、日本を代表する観光地を訪問する
 - ・ リピート率が改善しないと、群馬に来る可能性は低い？

モノ観光型

2016年 年代別訪問者数

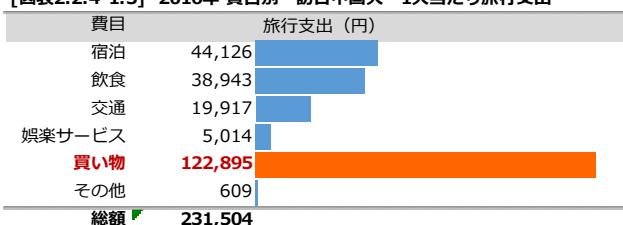
[図表2.2.4-1.1] 2016年 訪日中国人 年代比 (全国)



出典：法務省「国籍・地域別 出国外国人の年齢及び男女別」2016

2016年 費目別旅行支出

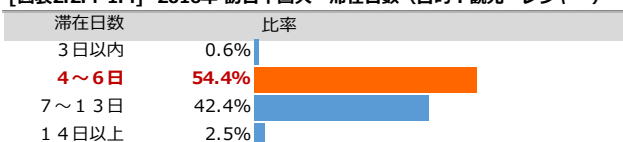
[図表2.2.4-1.3] 2016年 費目別 訪日中国人 1人当たり旅行支出



出典：観光庁「平成28年年次報告書 訪日外国人の消費動向」

2016年 滞在日数 (観光目的)

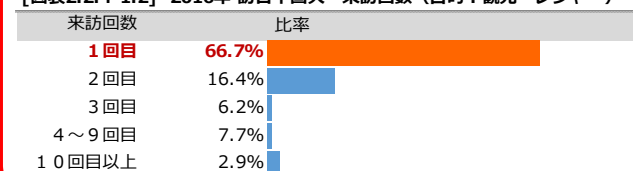
[図表2.2.4-1.4] 2016年 訪日中国人 滞在日数 (目的：観光・レジャー)



出典：観光庁「平成28年年次報告書 訪日外国人の消費動向」

2016年 来訪回数 (観光目的)

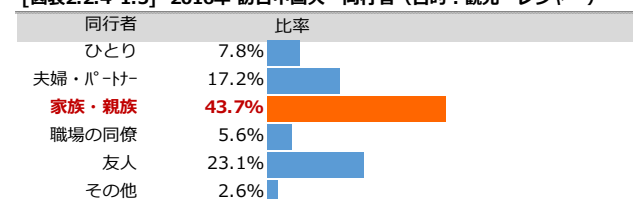
[図表2.2.4-1.2] 2016年 訪日中国人 来訪回数 (目的：観光・レジャー)



出典：観光庁「平成28年年次報告書 訪日外国人の消費動向」

2016年 同行者 (観光目的)

[図表2.2.4-1.5] 2016年 訪日中国人 同行者 (目的：観光・レジャー)



出典：観光庁「平成28年年次報告書 訪日外国人の消費動向」

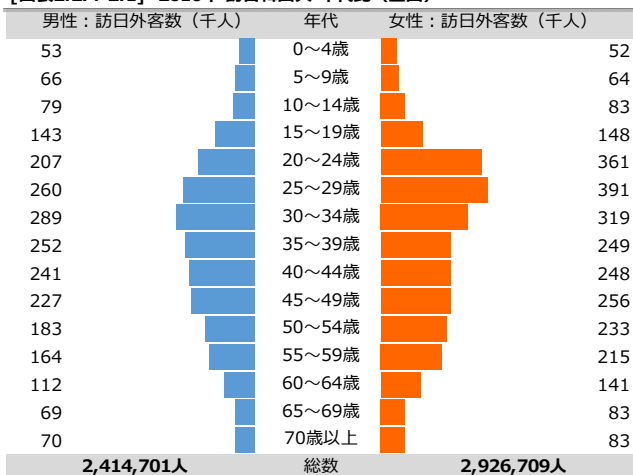
【特徴】

- ① 滞在日数6日以内が9割以上。
 - ② 訪日旅行の満足度が低い。
- 滞在日数が短いので、「温泉でのんびり」はしない？
 - 滞在日数が改善しないと、群馬に来る可能性は低い？

短期集中型

2016年 年代別訪問者数

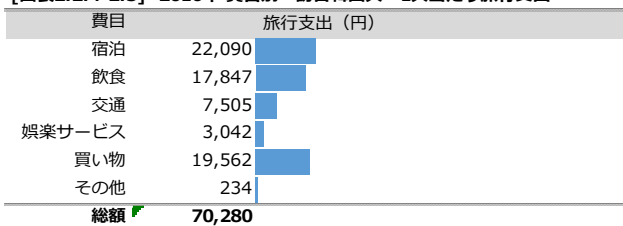
[図表2.2.4-2.1] 2016年 訪日韓国人 年代比 (全国)



出典：法務省「国籍・地域別 出外国人の年齢及び男女別」2016

2016年 費目別旅行支出

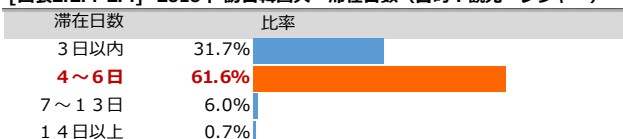
[図表2.2.4-2.3] 2016年 費目別 訪日韓国人 1人当たり旅行支出



出典：観光庁「平成28年次報告書 訪日外国人の消費動向」

2016年 滞在日数 (観光目的)

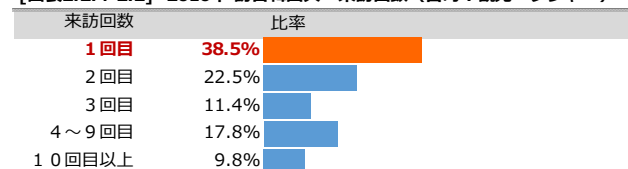
[図表2.2.4-2.4] 2016年 訪日韓国人 滞在日数 (目的：観光・レジャー)



出典：観光庁「平成28年次報告書 訪日外国人の消費動向」

2016年 来訪回数 (観光目的)

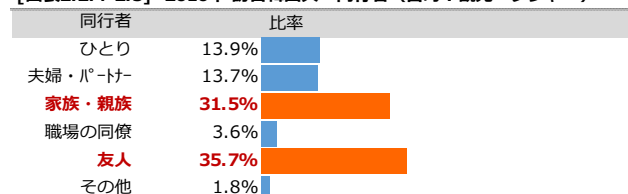
[図表2.2.4-2.2] 2016年 訪日韓国人 来訪回数 (目的：観光・レジャー)



出典：観光庁「平成28年次報告書 訪日外国人の消費動向」

2016年 同行者 (観光目的)

[図表2.2.4-2.5] 2016年 訪日韓国人 同行者 (目的：観光・レジャー)



出典：観光庁「平成28年次報告書 訪日外国人の消費動向」

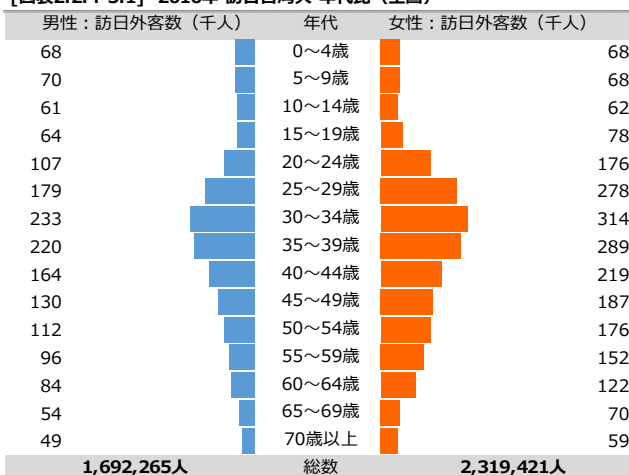
【特徴】

- ① 「リピート率」が無茶苦茶高い。
 - ② 訪日旅行の満足度が高い。
- ・ 訪日回数が多いので、代表観光地は訪問済みの人が多い？
 - ・ 滞在日数も長めなので、「群馬県の観光地」にも訪れる？

興味探究型

2016年 年代別訪問者数

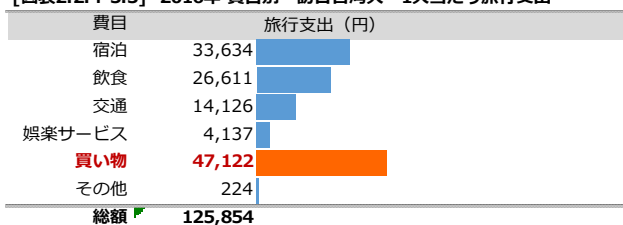
[図表2.2.4-3.1] 2016年 訪日台湾人 年代比 (全国)



出典：法務省「国籍・地域別 出外国人の年齢及び男女別」2016

2016年 費目別旅行支出

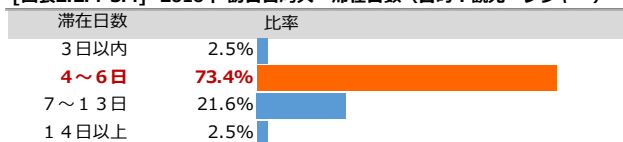
[図表2.2.4-3.3] 2016年 費目別 訪日台湾人 1人当たり旅行支出



出典：観光庁「平成28年年次報告書 訪日外国人の消費動向」

2016年 滞在日数 (観光目的)

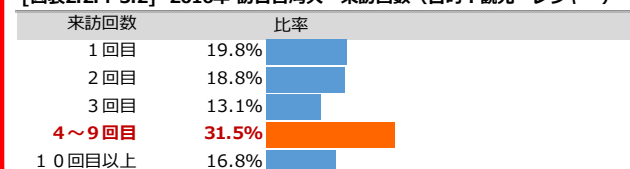
[図表2.2.4-3.4] 2016年 訪日台湾人 滞在日数 (目的：観光・レジャー)



出典：観光庁「平成28年年次報告書 訪日外国人の消費動向」

2016年 来訪回数 (観光目的)

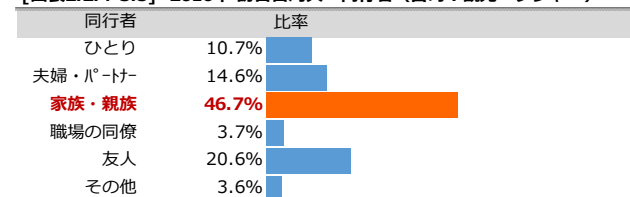
[図表2.2.4-3.2] 2016年 訪日台湾人 来訪回数 (目的：観光・レジャー)



出典：観光庁「平成28年年次報告書 訪日外国人の消費動向」

2016年 同行者 (観光目的)

[図表2.2.4-3.5] 2016年 訪日台湾人 同行者 (目的：観光・レジャー)



出典：観光庁「平成28年年次報告書 訪日外国人の消費動向」

宿泊者数は、約 8 5 0 万人／年

【国内旅行者】

① 観光客は、群馬近県の **1 都 7 県で 9 割強**

【訪日外国人】

① 群馬県に来る訪日外国人の **5 割弱は台湾**

② 観光目的の訪日外国人の 0.7% (**8.6万人**) しか来ない。

③ 中国・韓国からの観光客は見込みが低い可能性。

さて、どうしたものか....。

S 強み

東京からのアクセスの良さ
趣の異なる「温泉」群
豊かな自然（水・空気・景色・四季・野山）
高品質な果物や農産物
リゾートに適した山間部の気候
一年中楽しめるアウトドアスポーツ

W 弱み

脆弱な2次・3次交通
小粒な観光資源
人口減少・高齢化、施設老朽化
海産物（海や大きい湖がない）
山間部の貧弱な商業機能

47都道府県魅力度ランキング
ワースト5の常連

あり得なくない？

住んで良し、遊んで良しの群馬県。
そもそも、楽しみ方を知らないんじゃない？



マイナスイメージ？

群馬県観光客の行動分析もしてみる

【交通手段】**自家用車**での移動が無茶苦茶多い

【旅行目的】「温泉」「宿で**のんびり**」が無茶苦茶多い

【現地消費額】は全国平均の**約7割**に低迷！

群馬旅行の目的

【図表2.1.2-5】群馬県宿泊旅行の目的ランキング（複数回答）

目的	群馬 (%)	全国 (%)	差 (%P)
1 温泉や露天風呂	67.9	36.0	31.9
2 宿でのんびり過ごす	48.6	28.7	19.9
3 地元の美味しいものを食べる	26.0	34.4	▲8.4
4 名所、旧跡の観光	17.9	29.7	▲11.8
5 花見や紅葉など自然鑑賞	13.0	10.7	2.3
6 まち歩き、都市散策	11.8	16.9	▲5.1
7 買い物、アウトレット	8.1	11.4	▲3.3
8 ドライブ、ツーリング	7.8	6.3	1.5
9 スキー・スノボ、マリンスポーツ	7.7	3.2	4.5
10 友人・親戚を訪れる	6.9	14.1	▲7.2
11 アウトドア（海水浴・釣り・登山など）	5.3	5.3	0.0
12 テーマパーク（遊園地・動物園・博物館など）	5.1	13.6	▲8.5
13 その他スポーツ（ゴルフ・テニスなど）	4.7	2.3	2.4
14 お祭りやイベントへの参加・見物	3.7	5.1	▲1.4
15 各種体験（手作り、果物狩りなど）	1.7	1.5	0.2
16 スポーツ観戦や芸術鑑賞（コンサート等）	1.2	4.0	▲2.8
その他	5.0	7.0	▲2.0

出典：じゃらん宿泊旅行調査2009・群馬県

引用：日本銀行(2010) p.10

群馬旅行1回の費用

【図表2.1.2-6】群馬県宿泊旅行1回あたりにかかった費用（円）

科目	群馬県	関東7県	全国
費用総額	37,000	52,200	50,600
現地小遣	11,800	19,800	17,800

出典：じゃらん宿泊旅行調査2009・群馬県

引用：日本銀行(2010) p.11

群馬旅行時の交通手段

【表2.1.2-4】観光客が利用した交通手段

	目的地に着くまで（単一回答）			目的地に着いてから（単一回答）		
	群馬	全国	差	群馬	全国	差
自家用車	61.8	43.6	18.2	60.5	44.0	16.5
新幹線・特急列車	11.3	18.4	▲7.1	1.9	4.0	▲2.1
観光バス・貸切バス	11.0	5.0	6.0	10.7	9.7	1.0
その他鉄道	7.1	7.1	0.0	3.4	22.0	▲18.6
高速バス	1.9	4.0	▲2.1	0.5	2.1	▲1.6
飛行機	1.7	17.9	▲16.2	0.5	1.5	▲1.0
路線バス	0.7	0.4	0.3	6.2	9.8	▲3.6
レンタカー	—	—	—	5.3	8.1	▲2.8
タクシー・ハイヤー	—	—	—	4.5	7.9	▲3.4
利用していない	—	—	—	9.3	5.4	3.9

出典：じゃらん宿泊旅行調査2009・群馬県

引用：日本銀行(2010) p.9

3 次交通とは？

【2 次交通】

鉄道駅から観光目的地に移動するための交通手段

【3 次交通】

別の目的地に向かうための交通手段

【主要な 2 次・3 次交通手段】

- ・ 路線バス・高速バス ➡ 増便は経営的に難しい。
- ・ タクシー・ハイヤー ➡ コストが魅力を下げる。
- ・ **自転車** ➡ **検討余地あり？**
- ・ 徒歩 ➡ 時間が掛り過ぎる。

3 次交通の脆弱性解消が問題解決の鍵？

群馬県観光の現状（仮説モデル）

脆弱な 3 次交通

宿から移動しにくい

※自家用車の利用増加

のんびりしたい人ばかり

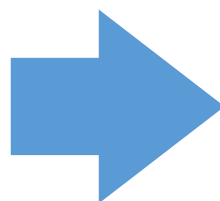
※目的 = 宿でのんびり

宿から動かない

※観光・食べ歩き率低迷

現地消費低迷

※魅力度全国最低レベル



理想的な形（仮説モデル）

3 次交通問題の解決

様々なアクティビティ体験

群馬の魅力の再発見

現地消費活性化 & 交流人口増

3次交通としての自転車の可能性

【特徴】 日本人の多くは、老若男女を問わず自転車に乗れる！

① 推定サイクリング人口は、全国で894万人

② 自転車保有率67%

③ 代表交通手段分担率は13%

日本は自転車先進国

2016年スポーツ人口ランキング

【図表2.1.4-1】スポーツ人口 ランキング（調査対象全22種）

アクティビティ	行動者数(千人)	行動者率
1 ウォーキング・軽い体操	46,821	41.3%
2 器具を使ったトレーニング	16,672	14.7%
3 ボウリング	14,334	12.7%
4 ジョギング・マラソン	13,667	12.1%
5 水泳	12,430	11.0%
6 登山・ハイキング	11,346	10.0%
7 つり	9,814	8.7%
8 サイクリング	8,934	7.9%
9 ゴルフ(練習場を含む)	8,900	7.9%
10 野球(キャッチボールを含む)	8,143	7.2%
11 卓球	7,664	6.8%

出典：総務省統計局：平成28年社会生活基本調査 生活行動－地域（調査票A）

第78-1表 男女、スポーツの種類別行動者数(10歳以上)－全国、都道府県 より作成。

人口当たり自転車保有台数

【図表2.1.4-2】人口あたりの自転車保有台数（国際比較）

国名	西暦	人口当たり自転車保有数(台/人)
オランダ	2008	1.11
ドイツ	2008	0.83
デンマーク	2001	0.77
スウェーデン	1995	0.71
ノルウェー	1995	0.71
日本	2005	0.67
フィンランド	1995	0.67
イタリア	1996	0.45
フランス	2000	0.38
イギリス	2002	0.38
アメリカ	1998	0.37
中国	2006	0.36
韓国	1996	0.14

出典：自転車産業振興協会統計要覧

引用：国土交通省「平成26年度政策レビュー結果評価書 自転車交通」p.10

自転車分担率の国際比較

【図表2.1.4-3】自転車分担率の国際海外比較

国名	西暦	自転車分担率
オランダ		27%
デンマーク		19%
日本	2010	13%
ドイツ		10%
オーストリア		9%
スイス		9%
ベルギー		8%
スウェーデン		7%
イタリア		5%
フランス		5%
イギリス		2%
アメリカ	2009	1%

出典：Cycling in the Netherlands（欧州）2009、H22 全国都市交通特性調査（日本）
全米世帯トリップ調査（アメリカ）2009 より作成

引用：国土交通省「平成26年度政策レビュー結果評価書 自転車交通」p.12

2010年性別年代別自転車分担率

【図表2.1.4-4】性別・年齢層別自転車分担率（全国、平日）

男性：分担率(%)	年代	女性：分担率(%)
23	5～19歳	16
12	20～29歳	13
9	30～39歳	15
9	40～49歳	16
7	50～59歳	17
8	60～69歳	20
12	70～79歳	14
13	70歳以上	7
11.63	平均	14.75

出典：H22 全国都市交通特性調査

引用：国土交通省「平成26年度政策レビュー結果評価書 自転車交通」p.13

欧米各国より高い！

【全国で盛り上がるサイクルツーリズム】

・ しまなみ海道サイクリングロード

広島県尾道市～愛媛県今治市

2015年 レンタサイクル貸出実績 68,217台

尾道市総合計画（平成29年）p.42より

・ B.B.B A S Eで行く房総のサイクリング

千葉県 & J R東日本 2018年1月運行開始

両国～館山・安房鴨川・佐原・銚子

<http://www.jreast.co.jp/chiba/bbbase/>

・ その他

- ・ 岐阜県：飛騨高山里山サイクリング
- ・ 奈良県：ならクル・奈良まほろばサイク∞リング
- ・ 滋賀県：ビワイチ
- ・ 茨城県：水郷筑波サイクリングロード
- ・ 宮崎県：日南海岸サイクルライン
- ・ 広島・島根県：やまなみ街道サイクリングロード

【群馬県における事例】

① 榛名山ヒルクライム（通称：ハルヒル）

毎年5月下旬開催（富士ヒルに次ぐ**全国第2位規模**の大会） 7,500人規模

② ツール・ド・草津

毎年4月中旬開催（今年は噴火の影響で中止） 3,000人規模

スポーツ行動者と群馬県旅行者の関係

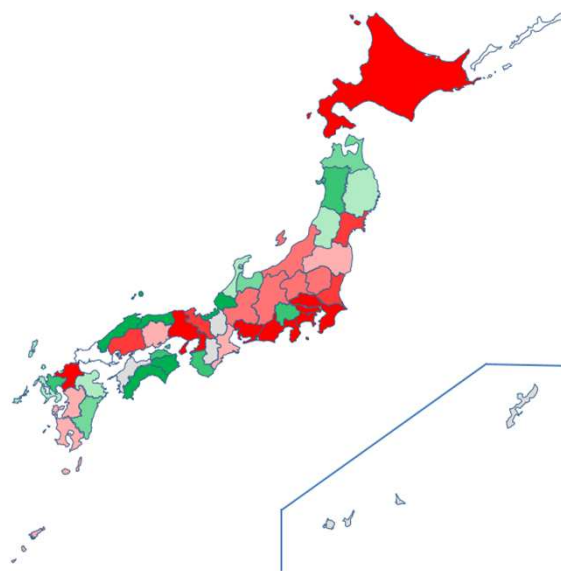
【特徴】大都市部ではスポーツが盛ん

「スポーツ行動者の多い地域」と「群馬県旅行者の多い地域」
ほぼ一致！

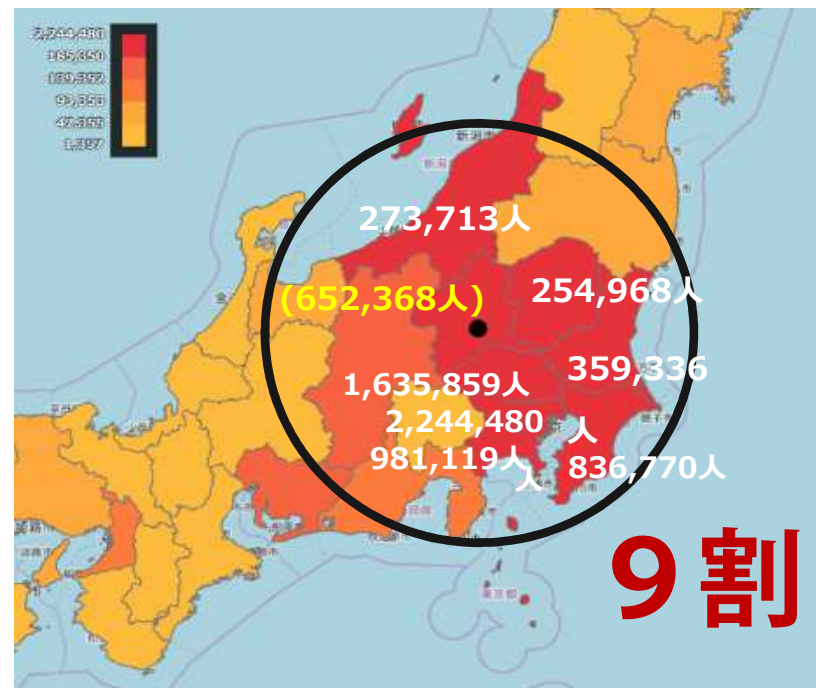
都道府県別行動者数（スポーツ）分布

【図表2.1.2-1】都道府県別行動者数（スポーツ）ランキング TOP 20

都道府県	行動者数 (千人)	千人率 (人)
東京都	9,348	757.2
神奈川県	5,946	723.7
大阪府	5,302	669.2
埼玉県	4,761	726.3
愛知県	4,760	711.8
千葉県	4,021	716.2
兵庫県	3,432	695.4
北海道	3,087	649.1
福岡県	2,948	657.9
静岡県	2,247	682.1
茨城県	1,783	684.7
広島県	1,668	665.3
京都府	1,638	700.6
宮城県	1,388	663.8
新潟県	1,279	625.7
長野県	1,267	680.8
栃木県	1,219	693.0
岐阜県	1,218	674.0
群馬県	1,195	681.3
岡山県	1,131	667.7



群馬県宿泊者の居住地別宿泊者数



出典：総務省統計局：平成28年社会生活基本調査 生活行動-地域（調査票A）

第78-1表 男女、スポーツの種類別行動者数(10歳以上)-全国、都道府県 より作成。

群馬近県 1 都 7 県のサイクリング人口

【全国】推定 894 万人

4 割強 が群馬近県
に分布！

【群馬近県】推定 392 万人

※ $3,922 \times 3,525 / 8,935 = 1,547$ (千人)

頻度：月 1 回以上人口は、推定 155 万人

男女別サイクリング人口（全国）

【図表2.1.4-2】サイクリング人口 男女比

性別	行動者数（千人）
男性	5,513
女性	3,422
総数	8,935

出典：総務省統計局：平成 28 年社会生活基本調査 生活行動－地域（調査票 A）
第78-1表 男女、スポーツの種類別行動者数(10歳以上)－全国、都道府県 より作成。

サイクリング人口（群馬近県 1 都 7 県）

【図表2.1.4-4】サイクリング人口 都道府県別（群馬近県のみ）

都県	行動者数（千人）
東京都	1,455
神奈川県	751
埼玉県	561
千葉県	503
茨城県	227
群馬県	168
栃木県	143
新潟県	114
総数	3,922

出典：総務省統計局：平成 28 年社会生活基本調査 生活行動－地域（調査票 A）
第78-1表 男女、スポーツの種類別行動者数(10歳以上)－全国、都道府県 より作成。

年代別サイクリング人口（全国：月 1 以上）

【図表2.1.4-3】サイクリング人口（全国 頻度：月 1 回以上）

年代	行動者数（千人）
10～14歳	277
15～19歳	250
20～24歳	244
25～29歳	240
30～34歳	243
35～39歳	284
40～44歳	372
45～49歳	299
50～54歳	258
55～59歳	193
60～64歳	197
65～69歳	284
70～74歳	178
75～79歳	126
80～84歳	61
85歳以上	19
総数	3,525

出典：総務省統計局：平成 28 年社会生活基本調査 生活行動－地域（調査票 A）
第14-1表 男女、ふだんの健康状態、頻度、年齢、スポーツの種類別行動者数
(10歳以上)－全国 より作成。

21 スポーツツーリズムに関する国内市場（日本人）

【サイクリング体験意向者】 スノースポーツの0.8倍

スポーツ実施頻度（過去1年）

【図表3.2.1-2】 過去1年間のスポーツに関する頻度

日常のスポーツ・運動頻度	年代	スポーツイベント参加頻度
28.2%	週1回以上	1.7%
7.3%	月1回以上	3.5%
5.8%	年1回以上	8.1%
12.6%	それ以下	16.1%
46.1%	未実施	70.8%

出典：スポーツ庁「スポーツツーリズムに関する国内マーケティング調査分析資料」

イベント参加頻度（過去1年）

国内旅行頻度（過去1年）

【図表3.2.1-1】 過去1年間に旅行にいった頻度

国内旅行頻度	年代	海外旅行頻度
38.8%	なし	87.0%
36.7%	1～2回	10.0%
16.4%	3～5回	2.1%
3.6%	6～9回	0.4%
4.5%	10回以上	0.6%

出典：スポーツ庁「スポーツツーリズムに関する国内マーケティング調査分析資料」

海外旅行頻度（過去1年）

スポーツツーリズムと合わせてしたいこと

【図表3.2.1-5】 スポーツツーリズムに合わせて実施したいこと

実施したいこと	比率
旅先ならではの 食事 を楽しみたい	72.2%
旅先ならではの 観光スポット を楽しみたい	64.4%
旅先ならではの 風景・景色 に出会いたい	50.0%
温泉 やお風呂で身体を癒したい	44.6%
旅先ならではの お土産・産品 を買いたい	41.7%
旅先・宿泊先で ゆっくりと寛ぎたい	39.4%
旅先ならではの文化・歴史に触れたい	37.0%
旅先ならではの 写真や映像 を撮りたい	31.4%
その時期ならではの 季節感 を感じたい	29.9%
豪華な宿やおしゃれな宿に泊まりたい	18.6%
同好の人や他の参加者との交流がしたい	11.5%
地域の人と交流したい	9.4%
スポーツ・運動の実施・観戦に必要なものを買いたい	9.2%
事前の練習や下見をしたい	3.6%
その他	0.0%
合わせて実施したいことはない	10.3%

出典：スポーツ庁「スポーツツーリズムに関する国内マーケティング調査分析資料」

体験してみたい「する」スポーツツーリズム

【図表3.2.1-3】 経験してみたい「する」スポーツツーリズム

※群馬県で行えない「海水浴」などは割愛。

頻度	主目的	副目的	合計	比率
ウォーキング	9.9%	20.5%	30.4%	
登山・ハイキング	8.9%	15.8%	24.7%	
スノースポーツ	8.3%	11.7%	20.0%	
サイクリング	4.9%	11.7%	16.6%	
リバースポーツ	4.4%	11.3%	15.7%	
テニス	4.0%	11.7%	15.7%	
スポーツフィッシング	4.5%	10.4%	14.9%	
卓球	2.8%	12.0%	14.8%	
ゴルフ	5.2%	8.7%	13.9%	
ランニング・ジョギング	4.0%	9.4%	13.4%	
アウトドアクライミング	3.2%	6.9%	10.1%	
マラソン	3.6%	6.1%	9.7%	
トレイルラン	2.4%	4.6%	7.0%	

出典：スポーツ庁「スポーツツーリズムに関する国内マーケティング調査分析資料」

スポーツツーリズムをしたくない理由

【図表3.2.1-4】 スポーツツーリズムを実施したくない理由や弊害（スポーツツーリズム非実施意向者のみ）

理由や弊害	比率
そもそもスポーツ・運動が好きではないから	24.2%
旅行ではゆっくりしたいから	21.0%
旅行費用が高くなるから	8.2%
旅先でスポーツ・運動に参加するほどの競技レベルに達していない	5.8%
旅先でスポーツ・運動の楽しみ方がわからない	5.6%
そもそも旅行が好きではないから	4.8%
スポーツ・運動に参加している時間がないから	4.4%
必要な荷物（用具やウェアなど）が増えるから	4.4%
一緒に参加する人がいないから	4.3%
参加できない事情がある（子供が幼いなど）	3.1%
事前の下調べや準備が面倒だから	2.8%
旅先でどのようなスポーツ・運動ができるかわからないから	2.3%
旅先でスポーツ・運動に参加することは危険だと思うから	1.8%
その他	1.4%
人気のため参加したくてもできないから	0.4%
特にない	45.7%

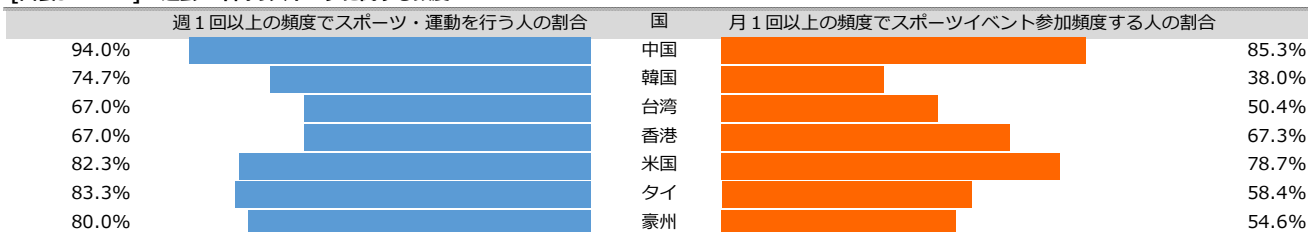
出典：スポーツ庁「スポーツツーリズムに関する国内マーケティング調査分析資料」

【週一回以上スポーツをする】 **約 7 割** 日本人の場合は 約 3 割

【体験したいスポーツ種別】 上位は国内とほぼ同じ

スポーツ実施頻度（過去1年間）

[図表3.2.2-1] 過去1年間のスポーツに関する頻度



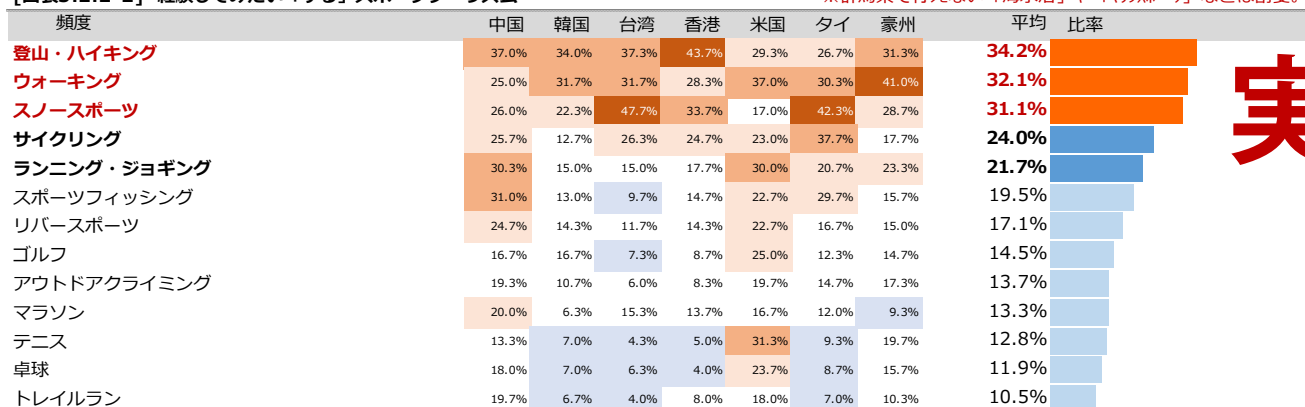
出典：スポーツ庁「スポーツツーリズムに関する国内マーケティング調査分析資料」

スポーツ
大好き！

体験してみたい「する」スポーツツーリズム

[図表3.2.2-2] 体験してみたい「する」スポーツツーリズム

※群馬県で行えない「海水浴」や「マリンスポーツ」などは割愛。



出典：スポーツ庁「スポーツツーリズムに関する国内マーケティング調査分析資料」より作成

実施意向率：
94%

- ・台湾一周のサイクリングルートを整備、自動車とは分離された走行空間(モーターバイクと共用)を確保
- ・警察(交番)で水等のサイクリスト向けサービスを提供
- ・「環島」としてサイクリングがブームになり、その流れで日本へもサイクリストが多く訪れている
- ・自転車メーカー(ジャイアント等)が後押し



出典: 台湾交通部観光局HP

台湾

※群馬に来る外国人の
5割弱は台湾人!

約1,000km
10日間

- ① 観光客の現地消費額は、**全国平均の7割**
- ② **3次交通の脆弱性**が、原因の可能性
- ③ 観光客は、**自家用車**で来て、宿で**のんびり**
- ④ 観光客の居住地では、**スポーツが盛ん**
(海外含む)

活動的な観光客を逃している？

【理想的な顧客像】 満足度が高く滞在時間の拡大が期待される人

- ・ 体を動かす事が好きなアクティブ型で知的好奇心・挑戦心が高い人
「みる」よりも「する」に魅力を感じる、冒険・探検好きな大人。
- ・ 時間的・金銭的自由度が高い人
好奇心を満たすためには、何度も訪れ、納得いくまで滞在し探求する。

【今後追及すべき具体的な客層】

- ・ スポーツや **体を動かす事が好き**な男女（年配層～若年層）
自然景観・風景や四季に興味がある人
時間的・金銭的余裕があり、旅行や消費を比較的高頻度で行える人

【具体的な客層のイメージ】

- ・ **アクティブ**シニア や「みる」だけでは物足りなくなった訪日外国人観光客
- ・ 日常的に何らかの運動をしており、**色々な事に積極的に挑戦**する。
- ・ 高価な（価値の高い）道具を所有している。
- ・ 納得できるものであれば、高額でも買ったり泊まったりする。
- ・ 見た目よりも歴史や背景にロマンを感じる。
- ・ 四季や景色の変化など、“自然”に興味がある。
- ・ 自然保護や環境配慮、動物愛護に関する活動やエコ活動に高い関心がある。
- ・ 活発で人脈が広く、**仲間とワイワイ**遊ぶのが好き。

① 自然観光

定番：紅葉観賞（谷川岳・一ノ倉沢）

定番：吹割渓谷／吹割の滝

② 歴史（文化）観光

定番：神社（榛名神社・伊香保神社・貴船神社）

定番：国宝・世界遺産（富岡製紙場）

③ 体験型観光

定番：温泉（湯畑・西の河原・湯釜・光泉寺）

定番：登山・ハイキング（榛名湖・榛名山・浅間山・赤城山）

④ ご当地グルメ観光

定番：コンニャクパーク（甘楽町）

定番：ソースカツ丼（高崎市栄寿亭）

⑤ 買い物観光

定番：高崎駅付近（OPA・ヤマダ電機 他）

定番：道の駅 川場田園プラザ

定番：尾瀬ヶ原・尾瀬沼

斬新：チャップミゴケ（中之条）

定番：仏閣（小林山達磨寺・水澤観世音・高崎白衣観音）

斬新：ダム巡り（奥四万湖・矢木沢・草木・藤原・奈良俣・蕨原・野反）

定番：スキー・キャニオン（水上・草津・武尊・片品）

斬新：サイクリング（利根川自転車道・渡良瀬川自転車道）

定番：ひもかわうどん（桐生市ふる川）

斬新：ぐんまちゃんバーガー（高崎市GGC・イベント時限定）

定番：けやきウォーク前橋

斬新：赤城第1農産物直売所

自然観光



尾瀬保護財団HPより

歴史（文化）観光



榛名神社HPより

体験型観光（サイクリングロード）



埼玉県HPより

【結果の考察】

- ・ **資源が小粒** (世界レベルの訴求コンテンツ不足)
- ・ **特色が薄い** (群馬にあるモノは、他県にもある)
- ・ **豊かな自然と河川、都市** (様々なアクティビティ体験が可能)

【対応策】

- ・ **パッケージ化** (小粒な資源をまとめて、旅の魅力度UP)
- ・ **多様な初体験** (初心者を対象に、様々なアクティビティ体験を訴求)

【課題】

- ・ **宿営地 と 観光地 を結ぶ手段 (3次交通)**

温泉だけじゃない！

秘境「群馬」の豊かな自然の中で、
様々なアクティビティを満喫。

忘れられない体験をしよう！

アレコレと、理屈こねててもしかたない....。

作って見よう！

【つーると群馬（案）】

- ・草津温泉を起点として、群馬県内各所の観光名所やグルメを体験する5泊6日のサイクリング
- ・基本的に道程は全て「下り道」
- ・万が一に備え、極力、鉄道路線に沿ったルート設定
- ・催行は、3月中旬～6月中旬を想定

※天候が比較的安定していて昼間時間も長く、各種お花見も楽しめる

草津温泉への移動

- 手荷物は成田空港から草津温泉宿に当日便で直送。
- 自身と自転車はＪＲ輪行で成田→新宿に移動。
- そこから高速バスにて草津温泉まで移動。

「フォトジェニック」 「インスタ映え」 画像サンプル

夜の湯畑



「夢の灯り」イベント



ホテル櫻井 「露天風呂付き」客室



温泉でのんびり ※ 元気な人は、 キャニオニングへ。

「フォトジェニック」 「インスタ映え」 画像サンプル

御座之湯「浴衣レンタル」



熱乃湯「湯もみショー」



山びこ「あげまんじゅう」



ホテル櫻井 会席料理（雅膳）



キャニオニング「キャニオンズあがつま」 ※半日コース AM9:30～（最少催行2人）¥9,000/人（器材いれ含）草津温泉バスターミナルから送迎有



ルートラボ: <https://latlonglab.yahoo.co.jp/route/watch?id=005dde868ccc5584f12d80510f931084>

サイクリング

走行距離: 63.5 km

平均勾配: ▲1.6%

獲得標高: 576 m



「フォトジェニック」「インスタ映え」画像サンプル

山乃気「気井セット」



寄り道 チャツボミゴケ公園



伊香保温泉「塚越屋七兵衛」



夕食「七兵衛膳」



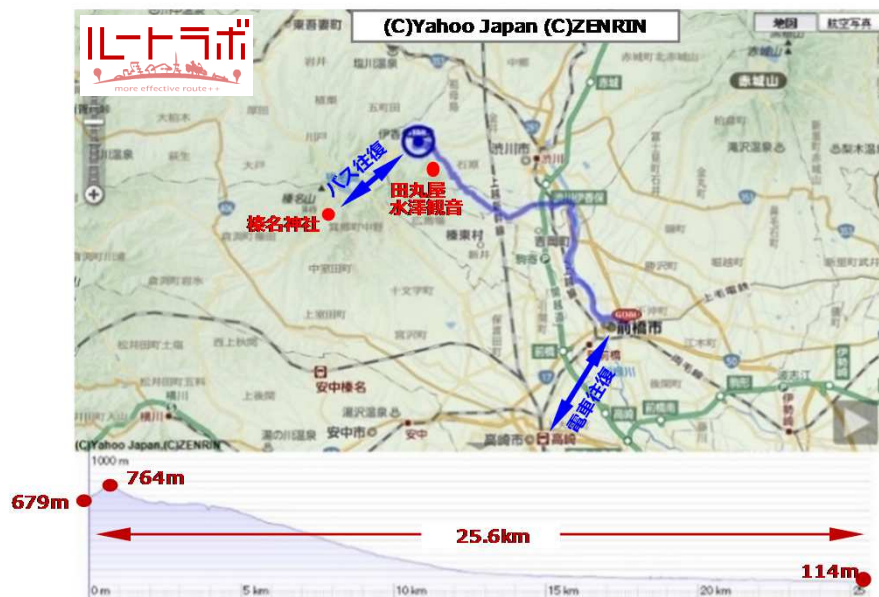
ルートラボ：<https://latlonglab.yahoo.co.jp/route/watch?id=b7d5b2e54d35a50f08fd5ed498ba0fcb>

伊香保観光

走行距離：25.6 km

平均勾配：▲2.2%

獲得標高：121 m



「フォトジェニック」「インスタ映え」画像サンプル

伊香保温泉「石段街」



伊香保「フウイ」見晴台



清芳亭「湯の花饅頭」



榛名神社



5日目 前橋→桐生→藪塚温泉

ルートラボ: <https://latlonglab.yahoo.co.jp/route/watch?id=da8b55e77a1c04c88a524e754ab9d34c>



休息 & 観光

走行距離: 8.8 km

平均勾配: ▲ 0.2 %

獲得標高: 20 m

「フォトジェニック」 「インスタ映え」 画像サンプル

輪行体験「上毛電鉄」



味処ふる川「ひもかわうどん」



織物参考館「紫」



寄り道 桐生天満宮



35

6日目 藪塚温泉→足利→館林

ルートラボ: <https://latlonglab.yahoo.co.jp/route/watch?id=8a3fcb10da2885aeaf0f047c4c7787d9>



サイクリング

走行距離: 37.7 km

平均勾配: ▲0.2%

獲得標高: 11m

「フォトジェニック」 「インスタ映え」 画像サンプル

県立「館林美術館」



寄り道 多々良沼「桜並木」



つつじが岡公園「躑躅ヶ岡」



寄り道 東部トレジャーガーデン



【調査目的】 道路状況の確認

【調査日】 2018年6月17日（日）

【天候】 くもり 【最低気温】 14℃ 【最高気温】 21℃

【使用自転車】 DAHON 20inch 折畳み自転車

【調査結果】

- ・ 【自転車道】 走行は快適。 ルートが複雑だが、案内が無く判り辛い。 トイレや給水・休憩スポットが不足。
- ・ 【一般道】 （自転車通行可標識有りの）歩道でも段差が多く走行は不快。
車道も路側部分が荒れている区間が散見。
車道の側溝上に自転車通行帯がある場合があり、グレーチングが滑りやすく危険。
交通量が多い。特に長距離トラックなど、運転マナーが悪い車が存在（空ぶかし、幅寄せ等）
- ・ 【駐輪場】 判りづらい観光スポットの駐輪場所。 ロードバイクを駐車する為のスタンドが無い。

改善の余地が多い

未実施

【自転車の運搬方法】

広島県尾道市では、「**レンタサイクル事業**」を自治体が**運営**する事で課題を解決

【天候の影響】

催行は「桜の季節から梅雨前まで」に**時期が限定**される。
秋は 1 day ride なら可能かも。

【駐輪場不足】

駐輪自体は可能。ロードバイクを**駐輪する設備はない**。
警備員がおらず、高級自転車は**盗難の危険**が有りそう。

【安全確保】

一般道は交通量が多くて、自転車では怖い区間がある。
自転車通行帯等の整備が必要。

【全国で盛り上がる自転車観光】

- ・ レースやツーリングなどのメニューは目新しいものではない
- ・ **地域として総合的に取り組む**ことで、初心者やファミリー層も含めた**すそ野の広い集客**に結びつく事が注目されている

出典：WEBサイト「観光Re：デザイン」2014.08.16 滋賀県立大学環境科学部環境政策・計画学科の近藤隆二郎先生 寄稿

（サイクルツーリズムの多様性と地域社会）より一部抜粋、一部加筆

【「観光」と「生活」の共存】

- ・ 場合によっては、**観光公害**とも言える状況になりかねない
- ・ サイクリストにやさしいまちは、住民の自転車利用にも快適
- ・ **“移動しやすい街を作ろう”**という気持ちは同じ。

出典：WEBサイト「観光Re：デザイン」2014.08.16 滋賀県立大学環境科学部環境政策・計画学科の近藤隆二郎先生 寄稿

（サイクルツーリズムの多様性と地域社会）より一部抜粋、一部加筆

【健康・子育て・福祉とつながる】 サイクルツーリズム

- ・ 少子高齢化社会においてサイクリストも**高齢化**
- ・ **ヘルスツーリズム**ならば、住民も評価・参加する可能性が増える

出典：WEBサイト「観光Re：デザイン」2014.08.16 滋賀県立大学環境科学部環境政策・計画学科の近藤隆二郎先生 寄稿
(サイクルツーリズムの多様性と地域社会) より一部抜粋、一部加筆

- ・ 体力と忍耐力に挑戦することで**精神教育上プラス**になるだけでなく、経路上の各地の**地理、歴史、文化の理解**を深めることにつながり、自転車ほどこれを簡単に実現できるものはない。

出典：WEBサイト「Wikipedia」より一部抜粋、一部加筆。 台湾人にとっての自転車環島の意義（台湾自転車環島運動協会）

2016.12.09 「**自転車活用推進法**」 成立

基本方針の中に、下記の記載

「観光旅客の来訪の促進その他の地域活性化の支援」

交通安全対策基本法の規定により作成される

「**交通安全基本計画**」 (国土交通省)

「自転車通行空間（自転車道、自転車専用通行帯等）の整備」

「自転車ネットワーク計画策定の推進」

「駐輪場の整備」

法的根拠として活用可能！

群馬県は、観光分野で出遅れているぞ！

「温泉 + α（アウトドアスポーツ）」で

活動的な観光客を呼び込もう！

43 おまけ (JGSS-2012 : 2x2クロス表 独立性検定)

【調査設計】

分析データ : SSJDA1000 日本版General Social Surveys <JGSS-2012> 寄託者 大阪商業大学
〔二次分析〕に当たり、東京大学社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センター
SSJ データアーカイブから〔「日本版General Social Surveys <JGSS-2012>」(大阪商業大学
)〕の個票データの提供を受けました。

実査時期 : 2012年2～4月

母集団 : 2011年12月31日時点で全国に居住する満20～89 歳の男女個人
(大正11年1月1日～平成3年12月31日までに生まれた男女)

標本数 : 9,000

抽出方法 : 層化2 段無作為抽出法

地点数 : 600 地点

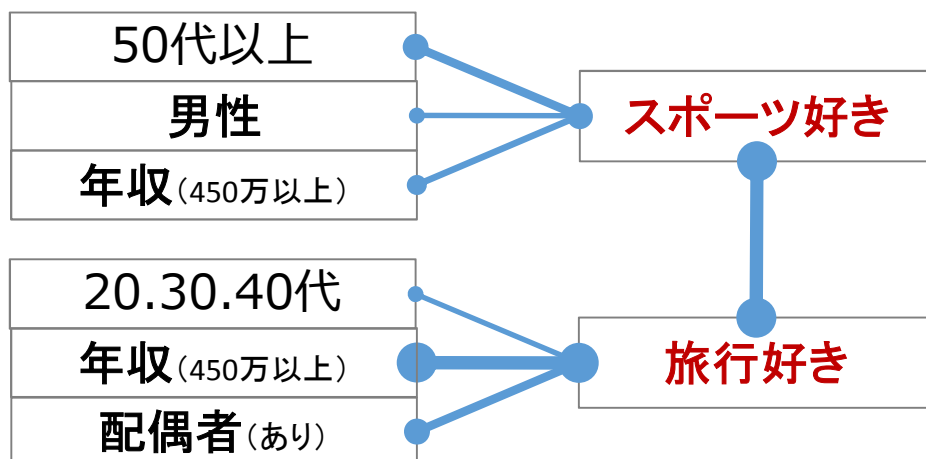
抽出台帳 : 住民基本台帳



日本版 General Social Surveys
JGSS-2012

文部科学省「特色ある共同研究拠点の整備の推進事業」

【分析内容】



【分析結果の概要】





Thanks for coming!
Let's enjoy GUNMA!

お願い。

あおらないでね～。

THE FUTURE STARTS TODAY,
NOT TOMORROW.